



市HP内掲載記事へ



おおみや トピックス



大宮町の人口

年齢	R6.1月末(前月比)
0歳～14歳	1,241人 (-5)
15歳～64歳	5,592人 (-3)
65歳～	3,014人 (-5)
合計	9,847人 (-13)

大宮売神社の木造女神坐像が京都府暫定登録文化財に登録

大宮売神社(周枳)には、平安時代にさかのぼる御神像2体が祀られています。丹後地域に残る神像の中では、板列八幡神社(与謝野町)とともに最も古く、大変貴重な文化財であることから、このたび2月2日付けで京都府暫定登録文化財に登録されました。



木造女神坐像(伝大宮売神像) 木造女神坐像(伝若宮売神像)

大宮町内では、このほかに丹後織物工業組合文書(丹後織物工業組合所蔵)が登録されています。



丹後織物工業組合文書

※大宮売神社の御神像は、信仰上の理由から、普段公開されていません。今回、神社から特別にご許可頂き写真を掲載しています。写真撮影:京都府教育庁文化財保護課

2月16日(金)午後7時から、大江山鬼そば屋(福知山市雲原)の共同店長である「なゝ姫」佐々井飛矢文さんと中村麻美さんが「みんなそれぞれただひとり～性の多様性を受け容れる～」と題して講演されました。

講演では、10人に1人の割合で「身体的性(Sex)」と「社会的性(Gender)」が一緒でない場合があること、多様な性のあり方を理解することが大切であることなどを話されました。

大野地区公民館

人権講演会



京丹後アートフェスティバル2023

「知るプログラム」京香ルネサンス成果展示



生涯学習課が実施した3つのワークショップのうち、川田知志さんの指導によるフレスコ画ワークショップの成果展示が、2月10日(土)～25日(日)まで大宮ふれあい工房を会場に開催されました。



会場では、8人の参加者が小牧源太郎の制作手法を体験し作られた下絵や関連資料と、それらをもとにしたフレスコ画の作品が展示されました。あわせて日本にはなじみが薄いフレスコ画制作に必要な画材なども紹介されていました。



フレスコ画の画材展示風景(左:パネル下塗り材料、右:パネル上塗り材料)

大宮町地域おこし協力隊 タニムラエリの 活動日記



先月号に紹介した小町の舎のひな人形展へ行きました。そこで雪洞を譲って頂き、京都市内に送りました。

小さなことですが、そこから丹後の魅力や資源をもっと発掘し、京都市や他のエリアにつなげ、交流や移住のきっかけを作っていきたいと思います。



94年前のひな人形



送った雪洞

タニムラの
編集後記

寒い日もありますが、三寒四温で少しずつ春に近づいています。
この春にご卒業される学生の皆様、ご家族の皆様、おめでとうございます！
おおみやトピックスに載せてほしいことやご感想・ご質問があれば、
大宮市民局69-0712(担当:谷村)にお気軽にお問合せ下さい！



大宮町区長協議会による 避難所運営訓練



避難所運営訓練の様子



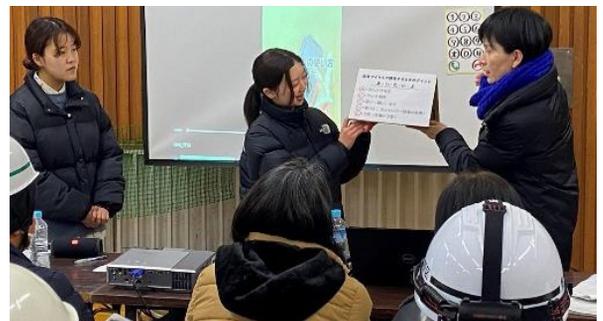
龍谷大学石原ゼミによる 防災ワークショップ

避難所運営訓練は、龍谷大学政策学部の石原ゼミナールとの共催で実施しました。訓練終了後、石原凌河准教授による「能登半島地震の現地報告」が行われ、石川県七尾市の建物の被害状況や避難所の状況が報告されました。あわせて、学生による楽しみながら防災を学ぶ「龍谷大防災ワークショップ」が行われ、参加者は災害用伝言ダイヤル171のかけ方や非常持ち出し袋の中身の紹介と背負う体験、新聞スリッパ作りを体験しました。

大宮町区長協議会では、大規模な災害が発生した時に、住民主体で避難所の運営を行うため、令和3年11月に大宮町の避難所運営マニュアルを作成し、定期的に訓練や研修を実施しています。今年度は、2月25日(日)午前、大宮中学校体育館にて「大規模災害を想定した指定避難所運営訓練」を行いました。当日の参加者は、防災士の資格をもつ口大野区の西村区長を中心に、避難所のカギをあけ、避難者を受け入れるところまで、一連の流れを確認しました。



石原准教授による「能登半島地震の現地報告」



災害用伝言ダイヤル171のかけ方



非常持ち出し袋を背負う体験



新聞スリッパ

地区要望にお応えします

～地域公共型小規模公共事業～



大宮市民局では、町内各区からの要望を受け、市民局の予算で身近な市道やカーブミラーの修繕を行っています。これまで、1件あたり50万円を上限としていましたが、要望にお応えしやすいように令和5年度より130万円が上限となり、より広い範囲の修繕を行えるようになりました。町内では、市道の舗装修繕などを行っています。このほか、区で市道の修繕などを行った時に使う重機などの借り上げ料や、砕石などの原材料費について、1件あたりの合計20万円を上限に市民局の予算で負担しています。

※地域公共型小規模公共事業について、
詳しい内容は「広報京丹後」2023年
10月号27ページをご覧ください→



道路修繕の例(口大野の市道豎町線 左:施工前、右:施工後)



道路修繕の例(下常吉の市道五箇役場線 左:施工前、右:施工後)